

令和5年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
BASIC 級 ロジスティクス

試験問題

(7 ページ)

1. 試験時間 60 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、受験票に記載されている試験区分名と同じか確認してください。
申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、70題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題70 各1点 合計70点
(合格基準) 試験全体として概ね70%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和5年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシート（解答用紙）には、①試験区分名、②氏名、③座席番号、④受験番号、⑤生年月日を正確に記入してください。なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆又はシャープペンシルのいずれかで、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) マークシートには、所定の事項以外は絶対に書き込まないでください。なお、計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (9) 解答の方法（真偽法）は次のとおりです。
ア. 1つ1つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
イ. マークシートには正・誤をマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正しいと思う場合には正の欄に、誤っていると思う場合には誤の欄にマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。
なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) 替え玉受験、試験中に受験者間で情報を授受する行為、指定されたもの以外のものを机上に置く行為、カンニング行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。
- (17) 試験終了後の正解表の公表、合格発表等のスケジュールは、受験票に記載しておりますので、ご確認ください。

問題1 軽自動車（総排気量660cc以下）や二輪の自動車（総排気量125cc超）を使用して貨物運送を行う事業を貨物軽自動車運送事業という。

問題2 航空輸送は、長距離でも近距離でも、常にトラックより早く貨物を届けることができる。

問題3 自社で運航する航空機を保有し、集配から通関までのドア・ツー・ドア輸送サービスを一貫して行う事業者をインテグレーターという。

問題4 トラックの500km以上の長距離輸送の運賃は、他の輸送機関に比べて割安となる。

問題5 鉄道による貨物輸送の環境負荷（トンキロ当たりCO₂排出量）は、他の輸送機関に比べて最も少ない。

問題6 鉄道輸送のうち、石油、セメントなどの太宗貨物を貨車で運ぶ「車扱い」輸送が増加傾向にある。

問題7 成田国際空港、関西国際空港、中部国際空港（セントレア）は、日本の航空貨物輸送の国際拠点空港である。

問題8 建築基準法によれば、営業倉庫は、準住居地域に建築できない。

問題9 倉庫の役割には、物資の需要と消費のバランスの調整がある。

問題10 3PL（サードパーティ・ロジスティクス）とは、荷主企業に代わって効率的な物流戦略の企画立案や物流システムの構築の提案を行い、かつ、それを包括的に受託し、実行することである。

問題11 3PL事業者は、荷主と対等な立場となり、荷主の代理人として実物流を管理し、継続的な改善を進めていく。

問題12 日本におけるマクロ物流コストは、対GDP比で1割弱を占めている。

- 問題13 物流拠点で行うアパレル製品への値札付けは、流通加工である。
- 問題14 調達物流は、製造業においては原材料や部品の調達、流通業においては仕入れに伴い発生する物流である。
- 問題15 売れなくなった製品の棚卸資産の評価損は、ロジスティクス部門が販売部門と協議の上で判断する。
- 問題16 調達先からの納品を通常よりも短納期にすることは、調達先の利益につながる。
- 問題17 物流サービスは、物流事業者にとっては商品である。
- 問題18 顧客が発注先企業に求める物流サービスに応える事ができなかった場合は、発注先企業のロジスティクス部門の責任であるといえる。
- 問題19 納品についての「納品先からの問い合わせがあった際の回答に要する時間」は、直接的なモノの動きではないので、物流サービスではない。
- 問題20 納期遵守率の低下は、ロジスティクス部門以外の部門に起因することがある。
- 問題21 労働災害を測る指標の1つである度数率は、労働時間に対する労働損失日数で計算する。
- 問題22 物流システムとは、調達・生産・販売・回収・廃棄の5つの機能を有機的に結合したしくみである。
- 問題23 小売業の店舗は、物流ネットワークにおけるノードである。
- 問題24 DP（デポ）とは、一般に、百貨店配送や宅配便の末端配送など、狭いエリア内を担当する小規模の配送拠点のことである。
- 問題25 フリーロケーション方式では、空いている棚に入荷品を保管し、その棚のロケーションナンバー（コード）を入力して入庫処理（棚付け）を行う。

問題26 物流拠点における流通加工は、ピッキングの後に行わなければならない。

問題27 卸売業による一括物流とは、小売業の商品の保管業務を卸売業が受託することである。

問題28 複数荷主が、同一納品先への配送を共同で行うのは、共同物流のパターンのうち、帰り荷確保による共同化である。

問題29 ①適正包装、②過大包装・過剰包装・誇大包装、③欠陥包装は、包装方式による分類である。

問題30 次の荷扱い図記号（ケアマーク）は、「壊れもの、取扱注意」を示している。

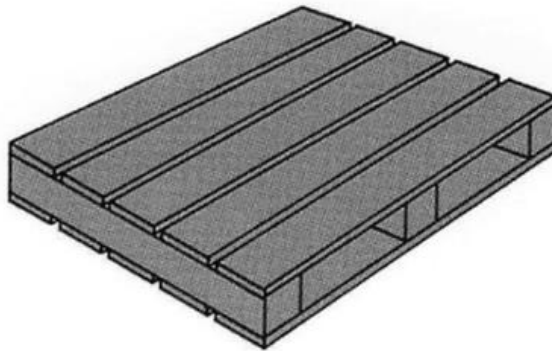


問題31 複数の物品又は包装貨物を、機械及び器具による取扱いに適するように、パレット、コンテナなどを使って一つの単位にまとめた貨物を、ユニットロードという。

問題32 段ボール箱で包装された製品をパレットに複数個載せてユニットロードにする場合、荷崩れ防止対策としてパレットサポーターが使われることが多い。

問題33 平パレットのデッキボードの両端に位置する板を、エッジボードという。

問題34 下図は、けたくり抜きパレットである。



問題35 セメントなど紙袋によって包装した貨物を何段も積むと、荷崩れを起こしやすい。

問題36 貨物をコンテナ輸送する場合、内容物の梱包は、衝撃を考慮してトラック輸送に比べて厳重にする必要がある。

問題37 I S Oで定められた国際海上貨物用コンテナのうち、一般的に使用されているのは、20ftと40ftと45ftである。

問題38 倉庫における荷姿転換の一例に、パレタイズド貨物で入荷したものをケース単位で出荷することがある。

問題39 保管における波動ロスとは、パレタイズド貨物からのケース出荷があり、フルパレットでなくなったため保管効率が低下した状態をいう。

問題40 倉庫に貨物を入出庫する際の荷役、荷役機械等の諸費用に対する対価が、保管料である。

問題41 普通倉庫保管料の3期制における積数^{せきすう}とは、繰越在庫+10日在庫+20日在庫量の合計である。

問題42 下図は、ネスティングラックである。



問題43 立体自動倉庫は、当初、工場の24時間稼働に対応した工程間波動吸収のための在庫の一時保管を目的として開発され、その後、出庫の荷揃えやピッキングなどの用途に拡大してきた。

問題44 荷役とは、物資の積卸し、運搬、積付けなどの作業をいい、ピッキングは含まれない。

問題45 モノを国際貨物コンテナなどに積み込む作業をパレタイズ、パレットに積み付ける作業をバンニングという。

問題46 ピッキング台車を使って、数件のオーダーを同時並行にピッキングしながらオーダー別コンテナなどに仕分けていく方法は、オーダー別ピッキングではない。

問題47 集約ピッキングとは、一定の時間帯にきたオーダーを製品アイテム別に集約してピッキングをした後に、出荷先別などに再仕分けを行う方法である。

問題48 T11型パレットのパレタイズド貨物の場合、リーチフォークリフトは、カウンタバランスフォークリフトよりも積付けに当たって広い通路幅が必要である。

問題49 仕分け装置（ソーター）は、「かさ物」（1つの単位にまとめられた物体。例えば、箱状もしくは袋状のもの）を仕分けるコンベヤのことである。

問題50 自家輸送と営業輸送の輸送トンキロの割合を見ると、自家輸送の方が高い。

問題51 輸送の役割の7つのRの一つとして「Right Product」がある。

問題52 J R貨物が最も多く保有するコンテナは、最大積載荷重が5 tのコンテナである。

問題53 トラックの原価計算で使われる運行3費とは、燃料・油脂費、タイヤ・チューブ費、高速道路代のことである。

問題54 国内航空貨物運送における混載運賃とは、荷送人が混載業者（利用運送事業者）に委託したときに適用される運賃である。

問題55 P Q R S T分析におけるP分析とは、物量分析のことを示す。

問題56 国内貨物輸送トン数の輸送機関別の割合は、トラックが概ね90%を超えている。

問題57 配車支援ソフトの活用にあたっては、ソフトが作成した計画どおりに配車を確定させる。

問題58 鉄道事業のうち、第二種鉄道事業とは、自らが所有する鉄道線路によって旅客や貨物の運送を行う事業のことである。

問題59 Q Rコードは、2次元シンボルの一種である。

問題60 下図のバーコードは、G S 1-128である。



問題61 一般的に、与信限度額は、取引先の支払い可能と思われる能力や取引金額に関わらず同じ金額を設定する。

問題62 オーダー管理の対象となるオーダーに、在庫未引当のオーダーは含まれない。

問題63 発注処理にEOSを活用した場合のメリットとして、受注者はデータの再入力が必要になることによる受注ミスの減少がある。

問題64 VANには、VAN事業者が主宰する食品VANや医薬品VANなどの業種VANや地域VANがある。

問題65 デジタルピッキングは、ピッキング時に人の介在が不要で、ピッキング機器が自動で商品をピッキングする。

問題66 シールピッキングでは、ピッキングする1品毎にその数量と同じ枚数のラベルを、ピッキングしたモノに1枚ずつ貼っていく。

問題67 配車計画時に貨物車への積載量を決める場合、貨物の質量は、実質量又は容積換算質量のうち、小さい方を用いる。

問題68 トラック輸送における運行管理システムの導入目的には、顧客サービス向上、コスト削減、ドライバーの負担軽減、労務管理の徹底がある。

問題69 在庫回転率は、在庫保有量を1日当たりの平均出庫量で除することで求める。

問題70 在庫保有日数とは、入庫量に対して何日分の在庫を保有しているかを示す指標である。